

【大蔵委員会】

(1) 審議概観

〔国政調査等〕

第141回国会閉会後の1月8日、租税及び金融等に関する調査のうち、金融安定化対策等に関する件について調査を行った。

委員会においては、金融システム安定化のための緊急対策について大蔵大臣及び大蔵省当局から説明を聴取した後、公的資金投入の在り方、金融機関の経営責任及び大蔵省の金融行政に対する責任、不良債権のディスクロージャー問題等について、質疑が行われた。

さらに、橋本総理大臣の出席を求め、平成9年12月に自由民主党の緊急金融システム安定化本部が提案した30兆円の公的資金投入策に関する質疑を中心に行い、金融システム安定化は現下の政府に課せられた極めて重要な責務であり、現時点において必要な措置と考えている旨の答弁がなされた。

なお、質疑に引き続き、同件等について、委員間の自由討議を行った。

(2) 委員会経過

○平成10年1月8日（木）（第141回国会閉会後第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 金融安定化対策等に関する件について三塚大蔵大臣から説明を、大蔵省当局から補足説明を聴き、橋本内閣総理大臣、三塚大蔵大臣、大蔵省、経済企画庁、通商産業省当局及び参考人日本銀行総裁松下康雄君に対し質疑を行った後、意見の交換を行った。